



プロバスだより

平成23年6月16日発行

東京日野プロバスクラブ

創立平成22年 10月 5日

第7号

POSITIVE AGING

編集・発行:情報委員会

http://blogs.yahoo.co.jp/pc_hino

第7回 理事会

日時:平成23年5月12日(木) 14:00~15:30

場所:東京飛火野ロータリークラブ事務所

出席者:10名、

第6回例会に備えて、具体的な運営に関する事を協議しました。

第6回 例会

日時:平成23年5月19日(木) 12:30~14:30

場所:高幡不動尊 客殿2階

出席者:24名 出席率83%(会員総数29名)

■開会 司会 例会委員長 奥 修兵

■会長挨拶 会長 篠原昭雄

「東日本大震災」から、2か月が経過しました。震災後、世の中が変化して、被災地の復興・原発問題など、不透明なものが残っています。震災を期に、日本が大きく変わってきました。

①震災に対して私達は何が出来るのか?

被災地にむけての取り組み活動は、

- ・会としての義援金、
- ・会員個人としての義援金
- ・奉仕委員会としての街頭募金

東京日野PCとしては、良いことをしたと思っています。

②例会も第6回目となり活動も皆様のお陰で活動も充実して来ました。

③今後の事業予定は?

- ・「総会」をどのようにするか?
- ・「設立1周年総会」の持ち方は?

④2名の入会者があります。

- ・来月から出席予定です。

■会食

会食の時間を利用して、東京日野 RC 創立45周年記念事業としての「日野 PC 創立のあゆみ」DVDの披露を行いました。

■幹事報告

幹事 澤田研二

①全日本プロバス協議会情報

- ・東京日野プロバスクラブは、全国で105番目のクラブです。
- ・106番目は、本庄プロバスクラブ(埼玉)尚、埼玉県で、はじめてのプロバスクラブ。

②東京日野 RC より「創立45周年記念誌」を、全会員に頂きました。

③義援金は、日野市役所経由日本赤十字社へ納金しました。個人としての義援金活動は継続実施しています。(義援金箱へ)

- ・会として ¥50,000
 - ・個人として ¥36,000 (6/9現在)
 - ・街頭募金として ¥25,245
- 合計 ¥111,245

④平成22年度定期総会

- ・6月16日(木)例会に引き続き開催。
- ・高幡不動尊客殿2F 12:30~14:30
- ・会則では、総会は5月ですが、昨年の10月発足と今回は役員人事の変更もありませんので、6月例会の中で総会を実施します。
- ・欠席の場合は、委任状提出。
- ・各委員会毎に、今年度「事業報告」、来年度「事業計画」を5月末日までに提出。
- ・議事に関するご意見、ご要望がありましたら、6月9日までに澤田幹事あて提出。

■委員会報告

例会委員会

委員長 奥 修兵

①6月例会の出欠は、幹事が確認(委任状)

②総会は、例会の時間内で実施。

情報委員会

委員長 林 良健

①「プロバスだより」第6号発行

②「日野 PC 入会案内チラシ」制作

- ・裏面活用し、50部印刷(会員委員会へ)

③全国の「プロバスだより」を紹介

④「東京日野プロバスクラブ」パンフレット

- ・研修委員会内のサークルの活動状況を掲載したパンフレットを制作予定。

会員委員会

委員長 鷲尾昭夫

- ① 日野 RC で活躍されていた2名の方を後藤一郎参与のご推薦により、入会決定。(次回より出席予定)
 - ・市川資忠 (82歳)
(株)日東鑿井工業所 代表取締役
 - ・疋田久武 (68歳)
(株)高幡ホーム 代表取締役
- ② 「入会案内チラシ」を活用して、お誘いしていきます。

研修委員会 委員長 小島康義 会員 森久保憲治

- ① 「旅行部」を立ち上げる予定です。

一泊、日帰り、研修旅行等具体的プランを検討中です。

本日打ち合わせを行いますので、関係者はお残り下さい。



地域奉仕委員会

委員長 山本英次

地域奉仕委員会として、今後取り組むべき活動として、下記事項を企画・提案していきます。

- ① 多摩川・浅川クリーン作戦 (23. 4. 15)
- ② 気かけ運動
- ③ 「ももくり」育英委員会：被災地の学費援助
- ④ チャリティーイベント

■その他

幹事 澤田研二

- ① 情報伝達の徹底
 - ・欠席者の資料は、近くの方が責任を持って配布して頂く。
- ② 「岩崎夏海」講演会
『ももドラ』誕生秘話そして
～ ドラッカーと AKB48 ～

- ・7月3日(日) 14:00～15:30
- ・日野市民会館大ホール
- ・主催:NPO 法人日野映像支援隊
- ・チケット ¥2,000
- ・チラシ、ポスターを希望者に差し上げます。



■ メンバースピーチ

「相続を、争族にしないために！」

副幹事 佐藤郁夫

1. 「相続」は、どんな人にも関係する。
相続の2大トラブル
①遺産分割の方法
②相続税の納税負担が高額で負担に苦しむ
2. 遺産 3,000 万以下は相続税はかからない。
・むしろ親族間のトラブルが怖い
3. 民法と現実がそぐわない…
4. 「土地付き一戸建て」…
分割出来ない遺産は揉める。
5. 相続人になれる人、なれない人
6. 相続の方法
・単純承認、限定承認、相続放棄
7. 遺産分割の4つの方法
・現物、代償、換価、共有
8. 特別受益
9. 親の面倒を看ていた、それなのに相続分は同じ… 寄与分
10. 分割協議の不調→家庭裁判所の調停や審判



◆レジュメご希望の方は、情報委員まで。

■閉会

副会長 菊池昭雄

IBC 岩手放送東京支社発行の『IBC NEWS RELEASE』第5号“ふるさととは負けない！”

復興に向けて、明るく
勇気付けられる話題を
取り上げた情報紙を、
4月15日から発行し
ています。(現在9号)



編集後記

■「東日本大震災」の支援活動は、長い目で、継続していく必要があります。

率先して支援活動として、お子様を 50 名預かっている団体では、新聞報道されると、膨大な文具とお米が送られて来て、夏を前にして、お米の保管に頭を痛めています。良かれと思ってやったことが、返って迷惑になることがあります。結局は、「お金が一番助かります。」(清水国明 談)